

#### 4 糖尿病の医療連携体制

##### 【現 状】

##### (1) 死亡の状況

- 北空知地域においては、平成27年の糖尿病による死亡数は9人で、全体に占める割合は1.7%となっており、全国（1.6%）及び全道（1.2%）より高い状況となっています。

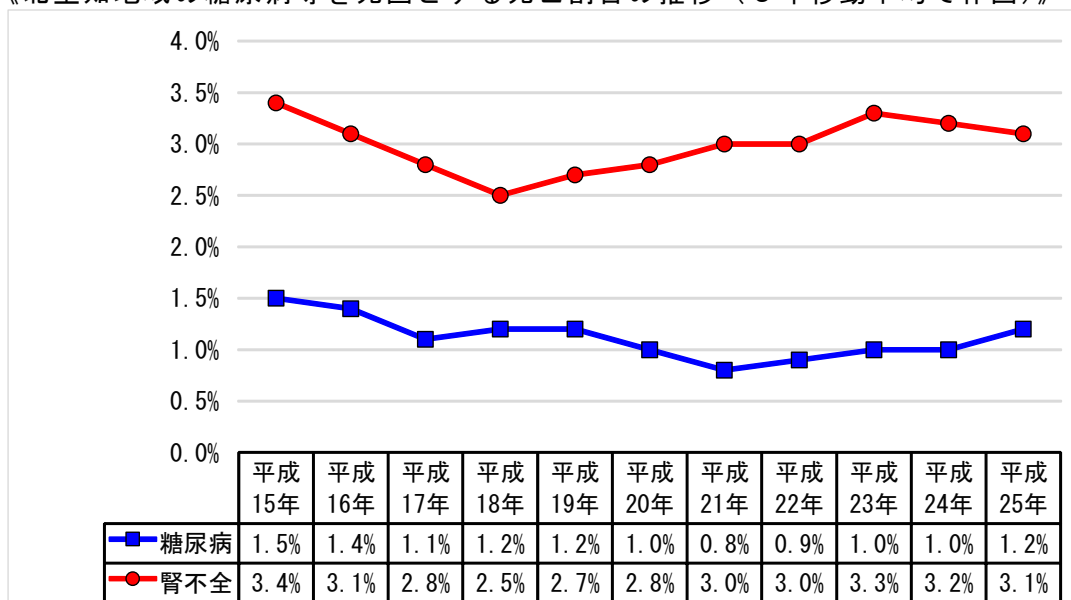
さらに、死亡者の割合を5年移動平均で作図して見ると、平成21年以降は若干の増加傾向にあります。しかし、糖尿病は、それ自体が脳卒中や急性心筋梗塞等のリスクとなっていることから、糖尿病を死因とする死亡数のみで地域の糖尿病患者の死亡状況を把握することは困難です。

- 糖尿病性腎症は、血液透析導入の原疾患の第1位であり、発症後の多くは末期腎不全に至っています。さらに、腎不全の死亡者の割合を5年移動平均で作図して見ると、平成18年を底に以降増加傾向にあります。

《北空知地域の糖尿病等を死因とする死亡数の推移》

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
死亡総数	461	490	512	497	520	443	502	544	491	504	466	565	551	529	544
糖尿病	10	14	3	5	6	7	6	6	4	1	4	9	7	4	9
腎不全	21	18	16	15	14	14	11	9	20	15	20	14	17	17	13

《北空知地域の糖尿病等を死因とする死亡割合の推移（5年移動平均で作図）》



##### (2) 健康診断の受診状況

- 糖尿病はCKD（慢性腎臓病）の発症リスクであり、放置すると人工透析が必要な糖尿病性腎症、網膜症による失明、脳梗塞、脳出血、心筋梗塞など様々な合併症を引き起こす要因となることから、早期発見と予防が重要です。

- 北空知地域において、平成28年度の市町村国保の特定健康診査対象者数は6,813人で、40～74歳人口の50.0%と半数を占めており、実施率は、45.0%と全道平均の27.6%を上回っており、北空知地域の5市町の道内での順位も18位から67位までと比較的高い位置となっている状況です。
- 生活習慣病やメタボリックシンドロームは、CKD（慢性腎臓病）発症とも深く関係しておりますが、平成28年度の特定健康診査におけるメタボリックシンドローム該当者\*1の割合は15.9%（全道16.9%）、同予備群\*2の割合は10.4%（全道10.5%）であり、全道とほぼ同じ傾向となっています。

《市町村国保における特定保健指導対象者状況》

	実施者数	内臓脂肪症候群 該当者		内臓脂肪症候群 予備群		高血圧症 薬剤服用者		脂質異常症 薬剤服用者		糖尿病 薬剤服用者	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全道	239,488	40,519	16.9%	25,260	10.5%	81,306	33.9%	60,530	25.3%	17,783	7.4%
北空知	3,067	489	15.9%	319	10.4%	1,110	36.2%	849	27.7%	267	8.7%
深川市	1,738	300	17.3%	183	10.5%	662	38.1%	468	26.9%	159	9.1%
妹背牛町	374	53	14.2%	32	8.6%	123	32.9%	94	25.1%	37	9.9%
秩父別町	310	39	12.6%	36	11.6%	109	35.2%	89	28.7%	25	8.1%
北竜町	252	34	13.5%	23	9.1%	76	30.2%	70	27.8%	22	8.7%
沼田町	393	63	16.0%	45	11.5%	140	35.6%	128	32.6%	24	6.1%

- 市町村国保におけるHbA1c\*3からみた有所見者を見ると、「6.5%以上（受診勧奨判定値）」該当者及び「5.6%以上6.5%未満（保健指導判定値）」該当者とも全道平均を上回っています。

《HbA1cの検査値から見た有所見者状況》

	HbA1c 実施者数		HbA1c区分														HbA1c6.5以上(再掲)					
			5.5以下		保健指導 判定値		5.6～5.9		6.0～6.4		受診勧奨 判定値		6.5～6.9		7.0～7.9		8.0以上		治療中		治療なし	
	人数	実施率	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全道	247,333	98.9%	125,876	50.9%	102,119	41.3%	74,183	30.0%	27,936	11.3%	19,338	7.8%	9,720	3.9%	6,687	2.7%	2,931	1.2%	11,535	59.6%	7,803	40.4%
北空知	3,131	99.6%	1,399	44.7%	1,479	47.2%	1,089	34.8%	390	12.5%	253	8.1%	130	4.2%	84	2.7%	39	1.2%	170	67.2%	83	32.8%
深川市	1,758	99.7%	769	43.7%	842	47.9%	620	35.3%	222	12.6%	147	8.4%	70	4.0%	50	2.8%	27	1.5%	102	69.4%	45	30.6%
妹背牛町	372	98.4%	201	54.0%	143	38.4%	114	30.6%	29	7.8%	28	7.5%	14	3.8%	9	2.4%	5	1.3%	21	75.0%	7	25.0%
秩父別町	325	100.0%	172	52.9%	125	38.5%	84	25.8%	41	12.6%	28	8.6%	15	4.6%	8	2.5%	5	1.5%	20	71.4%	8	28.6%
北竜町	268	100.0%	133	49.6%	115	42.9%	85	31.7%	30	11.2%	20	7.5%	12	4.5%	8	3.0%	0	0.0%	13	65.0%	7	35.0%
沼田町	408	100.0%	124	30.4%	254	62.3%	186	45.6%	68	16.7%	30	7.4%	19	4.7%	9	2.2%	2	0.5%	14	46.7%	16	53.3%

- \* 1 メタボリックシンドローム該当者：内臓脂肪肥満の蓄積（主に腹囲により測定）に加え、血中脂質、血圧、血糖基準のうち、2つ以上該当する者。
- \* 2 メタボリックシンドローム予備群：上記で、血中脂質、血圧、血糖基準のうち、一つに該当する者。
- \* 3 HbA1c：赤血球の中に含まれているヘモグロビン（血色素）とブドウ糖が結びついているもので、過去1～2か月の血糖値のコントロール状態を診る検査のこと。

### (3) 医療機関への受診状況

- 北空知地域における糖尿病で受療している割合は、NDBによると、入院が71.2%、通院が87.1%となっています。

#### 《北空知地域受療率（NDB）》

	入院	通院
糖尿病	71.2%	87.1%

※平成27年4月診療分から平成28年3月診療分の12ヶ月分の合計値

### (4) 医療機関の状況

(糖尿病医療機能を担う公表医療機関について)

- 北空知地域において、「インスリン療法を行うことができる」、「糖尿病患者教育（食事療法・運動療法・自己血糖測定）を行うことができる」、「糖尿病による合併症に対する継続的な管理及び指導を行うことができる」のいずれかに該当する公表医療機関は9か所です。

また、糖尿病専門医数は2名で、透析実施施設は1病院（27台）となっています。

#### 【課題】

##### (1) 予防対策の充実

- 糖尿病は自覚症状がなく進行する病気であることから、定期的な健診受診が必要であることを広く住民に周知するとともに、適切な食生活及び運動習慣により予防や改善ができることの普及啓発が必要です。
- 医療保険者等と連携し、糖尿病の発症リスクがある者に対して、保健指導や医療機関受診を勧め、生活習慣の改善が図られるよう支援が必要です。

##### (2) 医療機関や地域との連携体制の充実

- 未治療者への受診勧奨や糖尿病患者の疾病管理、合併症予防を推進できるよう、かかりつけ医と専門医療機関、歯科診療所及び医療保険者等による連携体制の整備が必要です。
- また、糖尿病の治療は、生活習慣改善と一体的に行わなければ効果が上がらないことから、医療機関と市町及び職域の連携・指導体制の強化を図ることが必要です。
- 身近な地域の医療機関で安心して人工透析を受けられる体制が必要です。

#### 【必要な医療機能】

##### (1) 発症予防

(かかりつけ医)

- 高血糖、脂質異常症、高血圧、肥満等の危険因子の管理を行います。

## (2) 初期・安定期治療

(糖尿病の診断及び生活習慣の改善、良好な血糖コントロールを目指した治療)

- 75 g O G T T \* 1、H b A 1 c など糖尿病の評価に必要な検査を行います。
- 食事療法、運動療法及び薬物療法による血糖コントロールを行います。
- シックデイ \* 2 や低血糖時の対応について事前に十分な指導を行います。
- 訪問看護ステーション、歯科診療所、薬局、介護支援専門員等と連携した在宅医療を行います。

## (3) 専門治療

(血糖コントロール不可例の治療、職種連携によるチーム医療の実施)

- 各専門職のチーム(管理栄養士、保健師、看護師、薬剤師等)による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた教育入院等の集中的な治療(心理問題を含む。)を行います。
- 75 g O G T T、H b A 1 c など糖尿病の評価に必要な検査を行います。
- 糖尿病患者の妊娠への対応について事前に十分な指導を行います。

## (4) 急性合併症治療

(糖尿病性緊急症・低血糖など急性増悪時の治療)

- 糖尿病性緊急症(ケトアシドーシス、高浸透圧高血糖状態等)や低血糖などの急性合併症の治療を24時間体制で実施します。

## (5) 慢性合併症治療

(慢性合併症治療を担う専門医療機関)

- 糖尿病の慢性合併症(糖尿病性腎症、糖尿病網膜症、糖尿病神経障害等)に係る専門的な検査や治療を行います。

## (6) 医療機能が異なる医療機関との連携や地域との連携

(かかりつけ医と専門医療を担う医療機関等との連携)

- かかりつけ医と専門医療を担う医療機関等との間で、診療情報や治療計画を共有するなどして連携を図ります。

---

\* 1 75 g O G T T : 75 g のブドウ糖水溶液を投与し、その後の糖の処分能力を調べることやインスリン分泌能を確認するための検査方法の一つ。

\* 2 シックデイ : 糖尿病患者が感染症に罹患し、発熱、下痢、嘔吐又は食欲不振によって食事ができないとき。体調不良によって糖尿病が悪化しやすい状態となる。

(医療機関と市町・保険者の連携)

- 医療機関は、市町や保険者から保健指導を行う目的で情報提供等の協力の求めがある場合には、患者の同意を得て必要な協力を行います。
- また、市町は、健診等で把握した重症化が懸念される住民について、医療機関から助言を得ることで、重症化予防対策の充実を図ります。

【数値目標等】

指標区分	指標名(単位)	現状値	目標値(H35)	目標値の考え方	現状値の出典(年次)	
体制整備	市町村国保特定健康診査受診率(%)	45.0	60.0	現状より増加	平成28年度市町村国保における特定健診等結果状況報告書	
	市町村国保特定保健指導実施率(%)	50.6	60.0	現状より増加		
実施件数等	地域連携クリティカルパスを導入している医療機関数(か所)	9	増加	現状より増加	北海道保健福祉部調査(糖尿病の医療機能を担う医療機関名公表調査)(平成29年4月1日現在)	
	北空知糖尿病療養連携システムの活用件数(件)	医療中断者支援件数	0	増加	現状より増加	平29年度北空知糖尿病療養連携システム(試行)状況
		市町栄養等指導件数	8	増加		
住民の健康状態等	市町村国保におけるHbA1c値が6.5%以上の者の割合(%)	8.1	減少	現状より減少	平成28年度市町村国保における特定健診等結果状況報告書	
	血液透析患者数(人)	91	減少	現状より減少	北海道保健福祉部調査(北海道における透析医療の現状調査)(平28年9月30日現在)	
	1年未満の血液透析患者数(人)	13	減少	現状より減少	北海道保健福祉部調査(北海道における透析医療の現状調査)(平28年9月30日現在)	

【数値目標等を達成するために必要な施策】

(1) 生活習慣の改善

- 糖尿病は、食習慣や運動習慣など生活全般にわたる活動と深く関係していることから、地域、学校、職場など乳幼児期から生涯にわたっての健康づくり(「北空知圏域健康づくり事業行動計画」)を推進するとともに、住民の健康状況の把握と必要な健康づくり対策の検討を行います。

(2) 発症予防のための健診や保健指導の推進

- 発症を予防するためには、発症因子である高血圧、糖尿病、脂質異常症等の早期発見、早期治療が必要であるため、市町、医療保険者、保健所等が連携して、特定健康診査の意義を広く周知し、充実に努めます。
- 市町は、がん検診と特定健診との一体的な実施を促進するとともに、これらの受診勧奨の取組を推進するなど、受診率の向上を図ります。
- 糖尿病の発症リスクがある者に対しては、医療保険者等と連携して特定保健指導を実施し、生活習慣の改善が図られるよう支援します。

(3) 重症化の防止と指導・相談体制の充実

- 糖尿病は放置すると糖尿病性腎症、網膜症、脳梗塞、脳出血、心筋梗塞など様々な合併症を引き起こす要因となることから、治療や生活改善を継続していくことが必要

です。

このため、医療機関と市町の保健指導部門が連携して、「北空知糖尿病療養連携システム」を運用し、糖尿病患者に対して継続治療の必要性等を啓発し、病状の悪化や合併症予防のための食事・運動療法の支援を行います。

#### (4) 医療連携体制の充実

- 「北海道糖尿病性腎症重症化予防プログラム」及び「北空知糖尿病連携システム」を推進するため、医師会等の協力を得ながら、医療関係者の糖尿病に関する診断技術向上などの研修会を開催し、医療連携の強化を図ります。
- 発症予防から専門治療・慢性合併症治療まで切れ目なく適切な医療が提供できるよう、「糖尿病連携手帳」（日本糖尿病協会発行）等を用いた地域内及び近隣の旭川地区糖尿病パス等の地域連携クリティカルパスや、ICTを活用した「たいせつ安心i医療ネット」等の患者情報共有ネットワーク、保健医療福祉圏域連携推進会議等を活用し、患者の受療動向に応じた連携体制の充実を図ります。
- 市町は、引き続き糖尿病等重症化予防事業の推進を図るとともに、医療機関、保健所等も、糖尿病患者に対して継続治療の必要性等を啓発し、病状の悪化や合併症予防に努めます。

#### 【医療機関等の具体的名称】

区 分	医療機関名	摘 要
糖尿病の医療機能を担う医療機関	成田医院	① ② ③
	医療法人社団 深川内科クリニック	① ② ③
	深川市立病院	① ② ③
	医療法人アンリー・デュナン会 深川第一病院	① ② ③
	医療法人 圭仁会 東ヶ丘病院	① ② ③
	たかはし内科消化器内科	① ② ③
	秩父別町立診療所	① ③
	北竜町立診療所	① ② ③
	町立沼田厚生クリニック	①

注) ①インスリン療法を行うことができること  
 ②糖尿病患者教育（食事療法・運動療法・自己血糖測定）を行うことができること  
 ③糖尿病による合併症に対する継続的な管理及び指導を行うことができること

#### 【歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割】

- 歯周病と糖尿病は相互に影響を及ぼし、歯周病治療で血糖値が改善すると示唆されていることから、医療機関から糖尿病を有する歯周病患者の紹介があった場合、適切な歯科医療の提供に努めます。

また、糖尿病合併症予防に当たっては、口腔機能及び口腔衛生の維持・管理が重要であることから、糖尿病患者の教育入院や糖尿病教室を実施する医療機関において、歯科医療従事者が歯科保健指導や歯科健康教育を行うなど、医科歯科連携による療養

支援体制の構築を目指します。

- 難治性の歯周病患者に対し、糖尿病に伴う易感染状態を疑い、糖尿病・内分泌専門医療を担う適切な医療機関へ紹介するよう努めます。

#### 【薬局の役割】

- 糖尿病の治療継続や重症化の防止のためには、患者が薬物治療について正しく理解し、適切に服薬等を行うことが重要であることから、薬局において、薬学的管理（薬剤服用歴の管理、服薬状況や副作用の把握等）を行うとともに、患者への適切な服薬指導などに努めます。
- 糖尿病の在宅患者に対しては、薬局において、医療機関や訪問看護ステーション等と連携し、薬学的管理の下、訪問による患者への適切な服薬指導等を行うとともに、在宅医療に必要な医薬品や医療・衛生材料等の供給に努めます。

#### 【訪問看護ステーションの役割】

- 糖尿病及び合併症の治療やそれに伴う諸症状について、セルフコントロールを含め適切な療養行動を維持できるよう患者・家族を支援し、生活の質の向上に努めます。
- 糖尿病の重症化予防や口腔ケア・フットケアなどによる合併症の予防・早期発見に努めるとともに、低血糖等の急性増悪時の対応について、患者・家族及び支援関係者と平常時から連携します。